「魅力のある学校づくり」をめざして　～令和５年度美東中学校の運営方針～

※以下に掲げている方針は、これからの１年間で、生徒・保護者・地域・教職員で実現をめざしていこうとするものであり、決定事項でないものも含まれています。

１．３つの小学校、１つの中学校による「小中一貫教育」について

・　児童・生徒、保護者、地域住民等の意見の総意と学校設置者である美祢市教育委員会の協議の上、小中のグランドデザインの統一、中学校教師による小学校高学年の教科担任制の充実、合同行事の開催の充実、教職員及び PTA の研修等の充実を図る。

２．部活動改革（部活動の地域移行）について

・　現在の休日部活動や平日部活動における指導者の体制の拡充を図り、地域移行を促進する。
・　学校における部活動の活動日を、一般の地域クラブ等へ参加している生徒の活動日数に合わせ、平日２日、休日１日とする。（原則として、火曜日・木曜日・土曜日　開始の時期は秋以降）
・　現在ある部活動のうち、完全な地域への移行が可能であろうと考えられる部については、「中学校の部活動」から「地域のクラブ」へ移行する（先行モデルとしてソフトテニス部を検討中）

３．生徒一人ひとりに「居場所のある」安全・安心な学校生活の充実について

・　学級担任を中心に、優秀な指導者のもとへの「訪問研修」の実施（生徒指導・学級づくり）
・　人間関係づくりやコミュニケーション能力の充実等を図るため、県教育委員会の野外活動専門指導主事を招聘して、本校で直接クラスでの学級活動等の指導を依頼
・　認知症サポーター養成講座の受講（美祢市主催：１年生受講）
・　朝の「あいさつ運動」や帰りの「見送り」時間等で触れ合う、生徒と教職員の時間の充実
・　パイプ椅子の活用による集会活動等での「脱・体育座り」による生徒の人権尊重の推進
・　学校長も生徒の相談窓口の一つとなり、校長室での面談等の積極的な実施

４．生徒の可能性を触発する活動の充実について

・　慶應義塾大学長谷部研究室の学生とのコラボによる「自分探し」の活動の推進
・　コンゴ共和国の方々との異文化交流体験によるグローバル感覚の育成
・　ロボットコンテストへの参加をはじめ、各教科の内容の充実を図るための大会等への意欲的な参加
・　生徒の ICT 機器活用能力の深化・充実を図るため、長期休業中を活用した「プログラミング講座」の実施
・　生徒が主体的に双方向授業に参加でき、クリエイティブな授業展開が可能となる学習コミュニケーションソフト「ロイロ・ノートスクール」を美東小中学校４校で導入し、ICT 機器活用での小中の滑らかな連携の推進
・　昇降口前ホールを、生徒の絵画や技術・家庭科での作品、自由研究やその他の学習成果物、賞状、各クラスの学級通信等の掲示物でデコレート展示し、「美東中ミュージアム」として活用を促進

５．２１世紀の時代に即した学校へ向けて、既存の規則や慣例の見直しについて

・　令和６年度から、ジェンダーレスに対応した新しい制服の導入（移行期間を２年間とする）
・　白色を基調としたこれまでの通学用の靴の自由化の促進
・　通学カバンを学校指定の黒いリュックサックに限定せず、自由化を促進
・　適宜、これまでの慣例に従った理由が不明確な校則等を、生徒とともに見直しの実施